

令和7年2月（第8回）教育委員会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和7年2月4日（火）午前10時00分～午前11時10分

2 場所 別館3階大ホール

3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 中川 日登美
- ・教育委員 藤原 洋
- ・教育委員 江川 由貴子
- ・教育委員 浦井 啓子

4 説明出席者

- ・教育部長 氏家 智伸
- ・教育部次長・教育総務課長 上野 容男
- ・中央図書館長 保市 のり子
- ・教育センター所長 竹田 千春
- ・総合政策部こども課長 溝口 早苗
- ・生涯学習スポーツ課長 山下 真人
- ・文化・世界遺産課課長 平本 光一
- ・教育総務課副参事 山本 佳和
- ・教育総務課副参事 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 佐藤 聖子
- ・教育総務課主事 永井 麻由子

5 傍聴者 なし

6 会議の要旨 午前10時00分、教育長が開会を宣し、議事に入る。

1 教育長の報告

- 12月26日（木）新教育委員任命式出席
- 1月4日（土）令和7年南砺市消防出初式出席
- 1月6日（月）新年執務始め式・永年勤続表彰出席
- 1月9日（木）教育振興基本計画第3回策定委員会出席
- 1月12日（日）二十歳の集い出席
- 1月23日（木）第4回総合計画審議会出席
- 1月31日（金）第4回行政改革推進本部会議出席

他、教育長が出席した会議・行事について概要の説明があった。

2 前回議事録の承認 全員異議なく承認した。

3 協議事項

- （1）南砺市英語検定料補助金交付要綱の一部改正について
教育総務課長から説明を行った。

4 報告事項

- （1）第3次南砺市教育振興基本計画について
教育総務課長から説明を行った。
- （2）令和6年度全国体力・運動能力等調査南砺市の結果について
教育センター所長から説明を行った。
- （3）令和7年南砺市二十歳の集いの出席状況について
生涯学習スポーツ課長から説明を行った。

5 その他

- (1) 令和6年度卒業式・令和7年度入学式の出席について
教育総務課長から説明を行った。
- (2) 南砺市立図書館の2月の事業について
中央図書館長から説明を行った。
- (3) 清澤恵美子アルペンスキー教室の事業報告について
生涯学習スポーツ課長から説明を行った。
- (4) 各地域学校統合の進捗状況について
教育総務課長から説明を行った。

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和7年3月18日（火）午後2時00分から

場所 本庁舎302会議室

7 議事

報告事項（1）第3次南砺市教育振興基本計画について

○教 育 委 員 修正を求めるわけではないが、資料2の「3 今回の重点目標のねらい」とは「2 重点目標」について説明しているものか。本来3に書くべきことは「1 基本目標」に関するリード文ではないか。基本目標がどんな経緯で作られたか明らかにするものだと考える。

重点目標とは、基本目標を達成するための中間目標のようなものである。別冊資料の基本計画の中に重点目標の位置づけについて説明がない。なぜこの重点目標にしたのか読んでもわからない。資料2にはねらいが記載されており、「誰ひとり取り残さず、誰もが学べる教育環境の整備を進めることを目指す」ために重点目標を変更したことがわかる。しかし、「教育環境の整備を進める」ためということであれば、あえて現計画の重点目標から新計画の「すべての市民が活躍できる学びの体制づくり」に変更した意図がよくわからない。「学びの体制」という言葉はあまり聞いたことがなく、具体的にどのようなことを意味しているのかわかりにくいように思う。本編に、「学びの体制」とは何か、どこから資金が出るのか、誰がどのように動くのか、具体的なことが書いてあればわかりやすいと考える。例えば現目標の「教育環境の充実」であれば、組織を整備したり補助金を交付したり、関係部署に人員を配置したりという具体的なイメージが持てるが、「体制」とはどのようなことを意味しているのか。

○事 務 局 私が一番思い浮かべているのは部活動のことである。単なる環境を用意するのではなく、幼児段階から小学校段階、中学校段階と子どもたちの成長に合わせて、いろんな組織と連携できる環境

を整え、子どもたちがやりたいことをできるような体制を作ること
をイメージしている。一生懸命学ぼうとする子どもたちを周りが
連携しながら支えていく。子どもも大人も積極的に学べる場を
組織的に作っていくという意味で「学びの体制」という言葉を選
んでいる。基本計画に「学びの体制」に関する資料を追加する。

- 教 育 委 員 「学びの体制」とは南砺市が作った造語なのか。
- 事 務 局 教育用語としてはないかもしれない。
- 事 務 局 文科省でも「学び」という言葉をよく使っているのは学びの主
体が子どもであることから、子ども側から物事を考えていこうと
いう方向性からである。学ぶ者の立場に焦点をあてて教育を考え
ていくという意味で「学びの体制」という言葉を選んでいる。
- 教 育 委 員 主体的な学びの体制づくりとなると学ぶ者の立場というのが連
想されるが、単に「学び」とすると学ぶ者の立場なのか、広く生
涯学習全般のことをいうのか分かりづらく、説明の文章があると
良いと感じた。
- 事 務 局 委員のご指摘をもとに修正を検討する。
- 教 育 委 員 計画の中にも記載があるが、今年吉江中学校に校内教育支援セ
ンターが初めて設置されたが来年度増える予定はあるのか。
- 事 務 局 現在工事希望はあるが予算はついていない。しかし運用してい
く中でどうなるかはわからない。大規模な改修となるので来年度
は工事は行わない予定である。
- 事 務 局 国の補助も厳しくなっている。
- 事 務 局 福野中学校からは以前からそのような話が出ているが大規模な
改修が必要となることから保留となっている。
- 教 育 委 員 現存のものを名前だけ変えることはできないのか。
- 事 務 局 名称だけ変えるということも考えられる。
- 事 務 局 予算を取って事業として行うものではないという考えである。
- 教 育 委 員 基本計画の中に不登校の児童生徒が増えており、いおう教室で
対応するという内容の記載があったが南砺市は民間のフリースク
ールの利用状況はどうなっているか。
- 事 務 局 民間のフリースクールに通う児童生徒もおり、学校の判断で登
校扱いとしているところもある。
- 教 育 委 員 実際どれくらいの実績があるのか。
- 事 務 局 市内のフリースクールとして市が認識しているのは、井波のよ
ってカフェと福野のちょこっとカフェである。それに準じた取り
組みをされているところはいくつもあるので今後増えていくと考
えている。出席扱いとしているフリースクールは現在5箇所把握
しており、南砺市によってカフェ、砺波市で2箇所、射水市、岐
阜県で1箇所のフリースクールに南砺市の児童生徒が毎日ではな
いが通っており出席扱いとしている。

○事務局 砺波地区のフリースクールの説明会を各学校の管理職もしくは生徒指導主事、保護者に向けて行った。来年度も早めの時期に行う予定にしている。フリースクールについて情報を共有し児童生徒の特性にあった場所を探せるよう、さらに周知したいと考えている。先ほど南砺市のちょこっとカフェは出席扱いとしてあげられなかったが、現在南砺市にはちょこっとカフェに通っている児童生徒がいないためである。もし今後利用する児童生徒ができたら校長やソーシャルワーカーが状況を確認し出席扱いとして認める可能性もある。

○事務局 市としてはいおう教室のような施設を増やすというより、いおう教室のような学校に近い形のもとの民間の多様なフリースクールで協力して子どもたちを育てていくという方針であり、そうなるよう現在体制を整えているところである。

報告事項（２） 令和６年度全国体力・運動能力等調査南砺市の結果について

○教育委員 中学２年生男子が全国平均を下回っている項目が多いことが読み取れる。身長・体重などの身体面は関係なさそうだが、運動嫌が多いなど気持ちの面で何か原因があるのか。

○事務局 南砺市全体の問題なので原因をお答えすることができない。

○教育委員 このような結果の年もある。調査の対象学年の前後１学年の数値から平均を出すとある程度きれいなグラフになると思われる。

報告事項（３） 令和７年南砺市二十歳の集いの出席状況について

○教育委員 市長のメッセージの文章を当日ではなくあらかじめ準備してもらえないか。

○事務局 来年以降改める。

その他（４） 各地域学校統合の進捗状況について

○教育委員 学校統合説明会の内容は城端・福野・井波等の他の地域にも情報を共有できているのか。情報が広く浸透していないのではないのか。地域ごとに学校統合に対する意識に温度差が生じたり、後に統合検討する地域が先に統合検討した地域の方向性に影響を受けたりしないか懸念している。

○事務局 開催した内容に関しては順次、市ホームページにて公開している。ただし公開してもホームページを見ていないという方も多いこともあり、さらにどのように周知していくか課題である。学校のあり方検討の説明会に関しては平野部４地域で行っているが、福野・井波地域についてはまだ差し迫った状況ではないこともあり参加者が少ない傾向であった。城端・福光に関しても具体的な統合案を聞きたいという思いで参加された方が大半で、思っていたものと違ったという意見もあった。地域ごとの検討内容がまとまれば市全体の検討委員会を開くことになっているため、情報の周知徹底を考えている。委員がおっしゃったように先に決まった

者勝ちという状況も起こり得ると考えられる。しかし提言書ではまず地域内で考えることを大前提としていることから、あとから隣接する地域の統合案が持ち上がった場合には改めて協議をし直すことになっている。

○事務局 各地域の検討委員会の状況をまとめたページを作成し、地域ごとの状況に市民が簡単にアクセスできる環境を作ってはどうか。

○事務局 ホームページには個別に情報公開をしているが、リンクをはる、総合的なページを作る等、市全体の状況がわかりやすいページの作成を今後考えたい。

○教育委員 学校のあり方検討委員会に福野地域や井波地域から委員が出ているが、その出席している委員が地域づくり協議会の会合で学校のあり方検討委員会の内容を説明すれば他の地域が具体的にどのような状況かわかる。しかし現状委員は個人的にしか動いておらず、情報を共有できるような仕組みにはなっていないように感じる。各地域づくり協議会の事務局に検討委員会に関するホームページをアップしたことを知らせるメールを送付することで周知の徹底ができるのではないか。

○事務局 例えば平地域づくり協議会では会合で学校のあり方検討委員会の報告を必ずしており、委員にも所属する団体で共有するようお願いしている。

○教育委員 平は差し迫った状況のため情報が行き渡っているかもしれないが、井波や福野地域はそうではないと感じている。せっかく説明会や委員会を開いているのだから委員や事務局への情報提供の方法を工夫してより多くの市民に情報が行き渡るようにしてほしい。

○事務局 検討する。

午前11時10分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和7年2月4日

南砺市教育委員会

教育長